

2023 年度

名古屋大学大学院経済学研究科

博士後期課程

外国人留学生特別入学試験募集要項

2023 年 4 月入学

名古屋大学大学院
経済学研究科

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4 (700)
E-mail: soec-apply@adm.nagoya-u.ac.jp (入試担当)
経済学部・経済学研究科ホームページ
<http://www.soec.nagoya-u.ac.jp>

◇◇◇◇ アドミッション・ポリシー ◇◇◇◇

優れた政策提言能力と卓越した倫理観を持ち専門的経済人のリーダーとして指導的役割を発揮できる人材の育成のために、基礎的な語学力とその運用能力、基本的な問題分析能力とそのための学術的基礎をもつ学生の入学を希望します。

◇◇◇◇ 教育目標 ◇◇◇◇

応用能力
研究能力

不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、次のホームページにより周知しますので、出願前や受験前は特に注意して下さい。

◇経済学部・経済学研究科ホームページ

URL <http://www.soec.nagoya-u.ac.jp/>

◇連絡先

経済学研究科入試担当

E-mail soec-apply@adm.nagoya-u.ac.jp

T E L 052 (789) 2357

名古屋大学大学院経済学研究科博士後期課程 外国人留学生特別入学試験募集要項

2023年度本研究科博士後期課程に入学又は進学する外国人留学生を下記により募集する。

2022年6月(2022年9月更新)

名古屋大学大学院経済学研究科

1. 出 願 資 格

次の各号の一に該当し、研究に専念できる者

- (1) 本学大学院または他の大学院で修士の学位又は専門職学位を授与された者及び2023年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月31日までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月31日までに取得見込みの者
- (4) 我が国において、外国に大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月31日までに取得見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2023年3月31日までに授与される見込みの者

(注) 在留資格「留学」ビザを取得していることが必要なため、不明な点は経済学研究科入試担当へ問い合わせること。

2. 募 集 人 員

社会経済システム専攻 若干名 産業経営システム専攻 若干名

3. 出願手続き・受付

出願手続きは、インターネット出願サイト(<https://e-apply.jp/ds/nagoya-gs/>)での出願登録及び入学検定料の支払いを行った後、出願期間内に必要な出願書類などを提出することにより、完了となる。

- (1) インターネット出願登録
別添「インターネット出願の流れ」にしたがって登録すること。
登録期間：2022年12月5日（月）～2022年12月21日（水）午後4時（日本時間）
- (2) 入学検定料の支払い
入学検定料：30,000円
別添「インターネット出願の流れ」にしたがって支払うこと。
ただし、本学大学院研究科博士前期課程を修了予定で、引き続き本課程に進学する者については、検定料が免除されるので、支払い手続きのページで該当する箇所にチェックすること。
支払は出願登録日を含めて4日間以内（又は2022年12月21日（水）午後4時までの早い期間）に行うこと。
支払期限内に入金がない場合、上記（1）の出願登録は自動的にキャンセルとなるので注意すること。
- (3) 出願書類の郵送
下記「4. 出願書類」は、インターネット出願サイトから印刷する「出願用宛名用紙」を貼り付けた封筒に入れ、書留郵便で2022年12月22日（木）午後4時まで必着するよう送付すること。
出願書類受付期間：2022年12月19日（月）～2022年12月22日（木）午後4時（日本時間）必着
- (4) 出願手続き後は、出願書類の変更は認めない。また、検定料の払戻しは行わない。

4. 出 願 書 類

※本研究科からの交付用紙は、経済学部・経済学研究科ホームページ(<http://www.soec.nagoya-u.ac.jp/>)からダウンロードし、A4判用紙に片面印刷のうえ利用すること。

※本研究科修了見込み者は下記（4）～（6）の書類の提出を要しない。

- (1) 名古屋大学大学院志願票/名古屋大学大学院写真票
インターネット出願サイト(<https://e-apply.jp/ds/nagoya-gs/>)からダウンロードし、A4判用紙に片面カラー印刷すること。
- (2) 経済学研究科志願書及び履歴書
用紙は本研究科から交付する。

- (3) 研 究 計 画 博士学位取得を展望しつつ、1) これまでの研究状況、2) 今後3年間の研究計画について記述すること。用紙は本研究科から交付する。
- (4) 修士論文またはそれに相当する論文3部および論文の要約3部(複写で可)
- ① 修士論文の内容が経済学あるいは経営学に関するものでない場合、または修士論文を書かないで修士の学位又は専門職学位を取得した場合には、経済学あるいは経営学に関するテーマで修士論文に相当する論文を作成する必要がある。また提出論文は日本語あるいは英語で書かれたものに限る。
 - ② 論文の要約(1,600字程度、英語の場合は800語程度)には、次の4点を明確にすること。
 - ア. 提出した論文の目的
 - イ. 論文の内容の概要
 - ウ. 関連する他の研究との比較
 - エ. 論文の残された問題
- (5) 学 業 成 績 証 明 書 ①最終出身大学(学部)が作成したもの。
②博士前期課程または修士課程におけるもの。
- (6) 修士学位取得(見込)証明書
- (7) 英語能力を証明する書類 TOEFL-iBT, TOEIC, IELTSのうち、いずれか一つの成績通知書を提出すること。成績通知書は、原則として受験日が2020年12月19日以降のものを有効とする。やむを得ず有効期限が過ぎたスコアや写しのみの提出を希望する者は入試担当に問い合わせること。
なお、提出の際は、以下に留意すること。

【TOEFL-iBT】(TOEFL iBT® Special Home Editionも可)

下記①と②の2種類を提出すること。

①Official Score Report (公式スコア)

出願期間最終日までに米国ETSから本研究科に届くように、所定の手続きを行うこと。本研究科の「指定受領校コード」は「1614」である。

②Test Taker Score Report(写) または Examinee Score Report(写)

出願書類提出時に、他の出願書類と一緒に提出すること。

【TOEIC】

Official Score Certificate(公式認定証)(原本)を他の出願書類と一緒に提出すること。
TOEIC Listening & Readingテストのみ可。その他のテスト(TOEIC Speaking & WritingテストやTOEIC-IPテストなど)は不可。

【IELTS】

IELTS(Academic Module)の成績証明書(Test Report Form)(原本)を他の出願書類と一緒に提出すること。IELTS(General Training Module)は不可。

英語を母語とする者は、出願前に経済学研究科入試担当に相談すること。

- (8) 誓 約 書 用紙は本研究科から交付する。
- (9) 在留カード(写) 在留カード(写)の両面を提出すること。提出できない場合は、国籍、在留資格及び在留期間を確認できるもの(市区町村長が発行する住民票(国籍、在留資格及び在留期間が記載されたものに限る)またはパスポートのコピー(顔写真・査証のある頁))を提出すること。

5. 選抜の方法, 日時

※インターネット出願サイトから通知された受験票は、印刷して試験時に持参すること。

(1) 外国語試験

英語能力を証明する書類を選考に用いる。

2023年2月1日(水)午後6時頃(予定)経済学部・経済学研究科ホームページに外国語試験合格者を掲載する。翌日以降、外国語試験合格者へ合格通知、口述試験日時及び受験方法を送付する。ただし、2月7日(火)までに合格通知等が届かない場合は、名古屋大学経済学研究科入試担当へ連絡すること。

(2) 口述試験（外国語試験の合格発表時に受験を指示された者）

2023年2月10日（金）本研究科が外国語試験合格者へ送付した通知において指定した日時にオンラインによる口述試験を行う。指定した日時に遅刻した場合は、受験を認めない。

また、機器や通信のトラブルで口述試験を受けられない場合は、口述試験時間より前に、経済学研究科入試担当へ電話で連絡すること。

口述試験では、修士論文またはそれに相当する論文の内容を中心に幅広く学力を問う。このほか、研究上必要とする外国語能力についても確認を行うことがある。

6. 合格者発表

(1) 日 時 2023年2月15日（水）午後6時頃（予定）

(2) 通 知 経済学部・経済学研究科ホームページに掲載する。翌日以降、口述試験合格者に通知する。

7. 学生納入金（入学科・授業料等）

入 学 料 282,000円（予定額）

授 業 料 前期分 267,900円（年額 535,800円）（予定額）

なお、入学時及び在学中に学生納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな学生納入金額が適用される。

8. 個人情報の取り扱い

(1) 個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「東海国立大学機構個人情報保護規程」に基づき、適切に管理する。

(2) 出願時に得た住所、氏名、生年月日その他の個人情報については、入学者選抜、合格発表、入学手続業務を行うために利用する。

(3) 出願時に得た個人情報内容及び入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用する。また、入学者についてのみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。

9. 障害のある者等の出願

障害等があって試験場での特別な配慮を必要とする者は、2022年11月25日（金）までに、下記(1)～(3)を添えて、その旨を経済学研究科入試担当へ申し出ること。

(1) 受験上の配慮申請書（障害の状況、受験上配慮を希望する事項とその理由等を記載したもの、様式任意、A4判用紙とすること。）

(2) 障害等の状況が記載された医師の診断書、障害者手帳等（写も可）。

(3) 障害等の状況を知っている第三者の添え書（専門家や出身学校関係者などの所見や意見書）。

なお、適宜それ以外の書類を添付しても構わない。

受験や入学後の修学に関して相談の希望がある者は、出願期限までに問い合わせること。

10. そ の 他

(1) その他詳細については、本研究科入試担当に問い合わせること。

(2) 入学手続きについては、合格決定後本人に通知する。（入学手続き：2023年3月下旬予定）

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響により、今後、試験日程、試験方法等の変更もあり得る。変更がある場合は、本学経済学研究科ホームページにより通知する。

● 「外国為替及び外国貿易法」に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化について

人文・社会科学の研究のみに関わる場合は以下は必要ありません。

例外的に理科学系分野との融合領域に関わる場合にのみ必要な手続きとなります。

2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関による教職員及び学生への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本学に出願の際は、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、合格時に「誓約書」の提出が必要となる場合があります。

「類型該当性の自己申告書」及び「類型該当判断のフローチャート」

https://mado.adm.nagoya-u.ac.jp/form1_export-control_jp

不明な場合は下記にお問合せください。

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 安全保障輸出管理事務局

E-mail : anzen@aip.nagoya-u.ac.jp TEL : 052-747-6702

「類型該当性の自己申告書」が出願締切日に間に合わない場合は、準備でき次第提出してください。

その他の出願に必要な書類は、必ず出願締切日に提出してください。

● Regarding the clarification of the scope of control for “deemed exports” under the Foreign Exchange and Foreign Trade Act (“FEFTA”)

As a general rule, the following is unnecessary if the research involves only the humanities and social sciences.

As an exception, if you are involved in a fusion area with a science field, please follow the procedures below.

In November 2021, in accordance with the clarification of the scope of control for “deemed exports” under the Foreign Exchange and Foreign Trade Act (“FEFTA”), some provision of sensitive technology to faculty members and students by universities and research institutions has become subject to control under the FEFTA.

Consistently with this change, when applying to study at the University, students will be required to submit a “Declaration of applicable specific categories” based on the “Flowchart for determining applicable specific categories”. In addition, submitting a “Letter of confirmation” may be required at the time of acceptance.

“Declaration of applicable specific categories” & “Flowchart for determining applicable specific categories”

https://mado.adm.nagoya-u.ac.jp/form1_export-control_en

You may submit the form at your own discretion. If you have any questions, please contact below.

Nagoya University, Academic Research & Industry - Academia - Government collaboration, Export Control Division

E-mail : anzen@aip.nagoya-u.ac.jp TEL : +81-(0)52-747-6702

If you cannot submit the "Declaration of applicable specific categories" in time for the application deadline, please submit it as soon as it is ready.

All other documents required for application must be submitted on the application deadline.

2023 年度受入可能教員リスト(博士後期課程) List of the faculty who can accept students. (Doctoral Program)

社会経済システム専攻 (Socio-Economic System)

氏名／Name		専門分野／Research Field	
伊藤カンナ	ITO, Kanna	西洋経済史	Economic History
木越 義則	KIGOSHI, Yoshinori	アジア経済史	Asian Economic History
工藤 教孝	KUDOH, Noritaka	マクロ経済学	Macroeconomics
齊藤 誠	SAITO, Makoto	金融・ファイナンス、マクロ経済学	Money/ Finance, Macroeconomics
清水 克俊	SHIMIZU, Katsutoshi	金融論	Banking, Finance, and Monetary Economics
園田 正	SONODA, Tadashi	農業経済	Agricultural Economics
立石 寛	TATEISHI, Hiroshi	数理経済学	Mathematical Economics
玉井 寿樹	TAMAI, Toshiki	公共経済学	Public Economics
田村 彌	TAMURA, Wataru	情報の経済学	Information Economics
鍋島 直樹	NABESHIMA, Naoki	政治経済学	Political Economy
花園 誠	HANAZONO, Makoto	産業組織論	Industrial Organization
福澤 直樹	FUKUZAWA, Naoki	西洋経済史	Occidental Economic History
藤田 真哉	FUJITA, Shinya	政治経済学	Political Economy
萬行 英二	MANGYO, Eiji	開発経済学	Development Economics
柳原 光芳	YANAGIHARA, Mitsuyoshi	財政学	Public Finance
柳瀬 明彦	YANASE, Akihiko	国際経済学	International Economics

産業経営システム専攻 (Industrial Management System)

氏名／Name		専門分野／Research Field	
犬塚 篤	INUZUKA, Atsushi	経営組織論	Organization Management
小沢 浩	OZAWA, Hiroshi	管理会計、生産管理	Cost Management, Production Management
坂口 順也	SAKAGUCHI, Junya	管理会計	Management Accounting
鈴木 智之	SUZUKI, Tomoyuki	人的資源管理	Human Resource Management
仙場 胡丹	SEMPA, Hu Dan	財務会計・監査	Financial Accounting and Auditing
中島 英喜	NAKASHIMA, Hideki	ファイナンス	Finance, Portfolio Theory
中屋 信彦	NAKAYA, Nobuhiko	比較経営論	Comparative Management
樋野 励	HINO, Rei	生産管理、作業計画	Production Management, Scheduling
宮崎 正也	MIYAZAKI, Masaya	経営戦略	Management Strategy
山口 景子	YAMAGUCHI, Keiko	マーケティング・サイエンス	Marketing Science

※このリストは 2022 年度内に変更になる可能性がある。

経済学研究科志願書及び履歴書

Application Form and Curriculum Vitae

志望専攻 Department in which you wish to study	社会経済システム専攻 Socio-Economic System	産業経営システム専攻 Industrial Management System
志望する指導教員 Desired academic advisor from whom you wish to receive supervision	※	
修士（見込） 論文名 Title of Master's Thesis		
後期課程において研究 しようとする主題 Main topic of research you hope to study in the Doctoral Program		
(フリガナ) Furigana		
ローマ字 Roman Alphabet		
氏名 Name		
現在の在留カードの在留期間 Period of stay of a College student Visa	年 月 (M / Y)	
英語能力を証明する書類 の種類及び受験年月 Test certificate which proves English proficiency and the test date	TOEFL TOEIC IELTS	年 月 (M / Y)

学歴 (Educational Background) ・ 職歴 (Employment Record, (Begin with the most recent one if any))

区分 (Classification)	学校名・勤務先 (Name of School・Company or institution)	正規の 修学年数 (Required Years of Study)	入学及び卒業年月 (Year and Month of Entrance and Completion) 勤務期間 (Period of employment)	学位／資格／職務内容 (Diploma or Degree awarded or Type of Work)
初等教育 (Elementary Education) 小学校 (Elementary School)		年 (Years)	入学 (From) 卒業 (To)	
中等教育 (Secondary Education) 中学 (Lower Secondary School)		年 (Years)	入学 (From) 卒業 (To)	
高校 (Upper Secondary School)		年 (Years)	入学 (From) 卒業 (To)	
高等教育 (Higher Education) 大学 (Undergraduate Level)		年 (Years)	入学 (From) 卒業 (To)	
大学院 (Graduate Level)		年 (Years)	入学 (From) 卒業 (To)	
研究生等 (Research Student, etc.)		年 (Years)	入学 (From) 卒業 (To)	

注意 Notes

- 太枠内はすべて英語または日本語で記載すること。
Documents should be written in either Japanese or English in the area inside the bold lines.
- ※印欄の志望する指導教員は、受入可能教員リストから選ぶこと。
※ Desired academic advisors must be selected from the list of the faculty who can accept students.
- PC を用いて必要項目を記入し、印刷したものを提出すること。
Fill out required items with your computer. Submit a printed copy by post.

氏名 Name

[illegible]

※タイプ打ち，3枚以内で文書を作成すること。図を記載してもよい。図は手書きでもよい。
Type or edit your text with word processing within three pages. You may include digital or hand-drawn diagrams.

名古屋大学大学院経済学研究科 Nagoya University Graduate School of Economics

受験番号	×
------	---

研究計画 Research Plan

[illegible]

※タイプ打ち，3枚以内で文書を作成すること。図を記載してもよい。図は手書きでもよい。
Type or edit your text with word processing within three pages. You may include digital or hand-drawn diagrams.

名古屋大学大学院経済学研究科 Nagoya University Graduate School of Economics

受験番号	×
------	---

研究計画 Research Plan

[illegible]

※タイプ打ち，3枚以内で文書を作成すること。図を記載してもよい。図は手書きでもよい。
Type or edit your text with word processing within three pages. You may include digital or hand-drawn diagrams.

名古屋大学大学院経済学研究科 Nagoya University Graduate School of Economics

受験番号	×
------	---

名古屋大学大学院経済学研究科長 殿

誓 約 書

2023年度名古屋大学大学院経済学研究科博士後期課程入試のオンライン面接を受験するに当たり、下記事項を順守することを誓約いたします。

- ・ 自己の責任において、ビデオ通話が可能な機器（カメラ付きパソコン、タブレット、スマートフォン等）を用意するとともに、面接を受けることを予定している場所（自宅、通学する教育機関等の個室）で、良好かつ安定的なインターネット環境を確保すること。
- ・ 面接を受ける場所（以下「試験室」という。）には本人以外入室せず、試験開始から終了まで一人であること。また、試験室は静寂な状態を保つよう努めること。
- ・ オンライン面接に使用する以外の通信機器は、電源を切り、試験室に持ち込まないこと。場所の都合上やむを得ず持ち込まざるを得ない場合は、試験開始から試験終了まで当該通信機器に触れないこと。
- ・ 試験中に撮影、録画、録音を行わないこと、及びそれらの画像、映像、音声データをSNS等で配信しないこと。
- ・ 試験実施に際して知り得た情報を、合格発表まで口外しないこと。

2022年 月 日

氏名（自署）

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1



事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。
早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…顔写真データ、各種証明書(※詳細は各研究科学生募集要項参照)



STEP

2



インターネット出願サイトにアクセス

インターネット
出願サイト

▶ <https://e-apply.jp/ds/nagoya-gs/>

または、

大学ホームページ

▶ <https://www.nagoya-u.ac.jp/>

からアクセス



STEP

3



マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
出願受付期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをおしてください。

STEP

4



出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②研究科の選択



③入試区分と留意事項の確認



④出願専攻等の選択



⑤顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑥個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑦出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票、写真票、宛名シート
が確認できます。

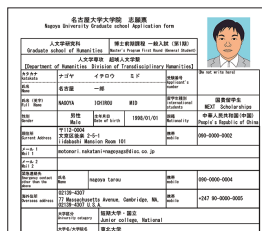


⑧申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



お支払い期限は申込日を含め4日間
です。ただし、Web出願締切がそれよ
りも早く到来する場合、Web出願締切
が期限となります。

⑨入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑩出願に必要な書類PDF
(イメージ)

※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエ
ンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁)

5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



入学検定料支払い後は、登録内容の修正・変更ができませんので、入学検定料支払い前に必ず登録内容を確認し、誤りがあれば、再度登録してください。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い

お支払い期限は申込日を含め4日間です。

ただし、Web出願締切がそれよりも早く到来する場合、Web出願締切が期限となります。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi

マルチコピー機
または
Famiポートあなたも、コンビニに、
FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

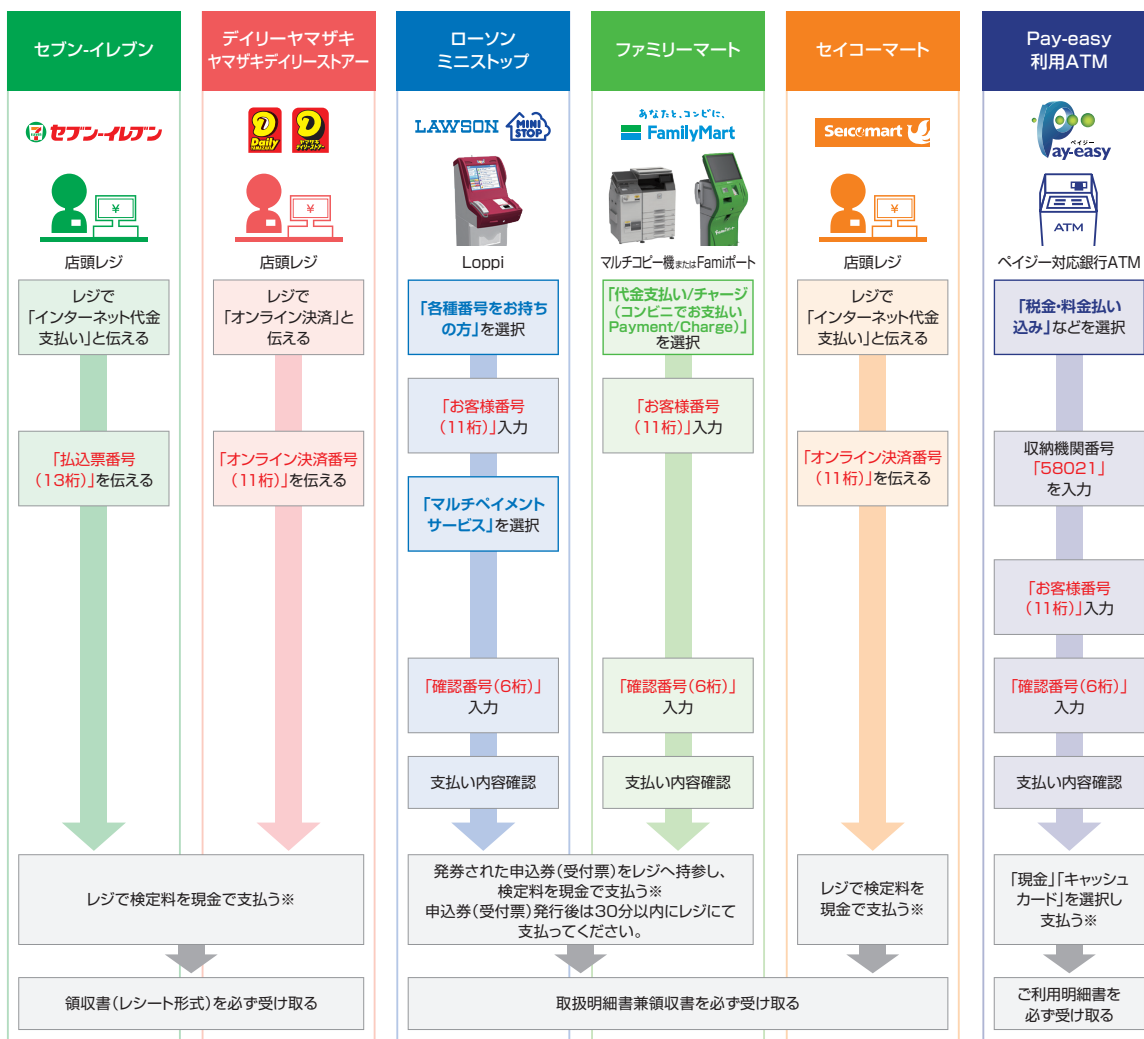
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、
内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

6



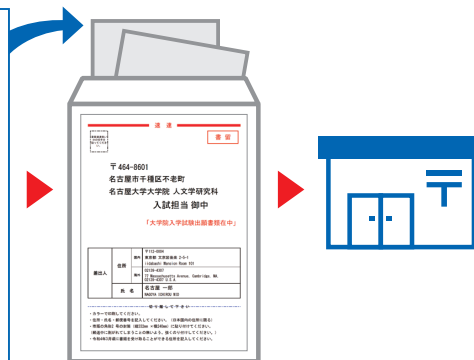
必要書類の印刷と郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全て**カラー印刷**し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「**書留速達郵便**」で郵送してください。

出願に必要な書類

⚠ 募集要項を必ず確認してください

- インターネット出願サイトから印刷する書類
志願票 写真票
- 本学研究科のホームページからダウンロードし、作成する書類
履歴書 など
- 出身大学等に発行を依頼する証明書
証明書



出願書類提出用宛名シート

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に貼り付けて作成

出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は学生募集要項を参照してください。

※一旦受理した入学検定料・必要書類は学生募集要項で明記しているものを除き一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。インターネットでの登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

それぞれの期限は各研究科の学生募集要項を参照してください。

インターネット出願は24時間可能です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7



受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。メールが届かない場合でも、試験前日までにインターネット出願サイトにログインし、各自で**A4用紙にカラー片面印刷**をして**試験当日に持参**してください。



受験票

氏名: ○○○○
入試: ×××入試